

総会 & 会員研修会 開催報告



6月8日(土)13時から、滋賀県長寿社会福祉センターの大教室にて総会と会員研修が開催されました。提出議案は、平成30年度の事業報告及び収支決算(案)と令和元年度の事業計画及び収支予算(案)、役員の新体制等です。ご審議いただいた結果、すべて承認されましたことをご報告させていただきます。総会後の研修会では、堀田聡子先生(慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授)から「地域共生社会と介護福祉士への期待～先進事例を通じて～」をテーマに講義をしていただきました。

広報編集委員 佃 和彦

令和元年度

滋賀県介護福祉士会開催予定の主な研修

研修名	開催予定日	備考
介護福祉士基本研修	11月21日、11月28日、12月11日、12月26日	4日間
介護福祉士実習指導者講習会	11月20日、11月27日、12月5日、12月13日	4日間
介護福祉士受験対策講座(模擬試験)	12月初旬	1日
認知症ケア研修(テーマ未定)	12月17日、1月22日、1月30日 講師:宮島渡氏	3日間
障がい者支援のための研修(テーマ未定)	2月5日	1日
多職種連携研修(テーマ未定)	2月13日	1日

* 滋賀県介護福祉士会ホームページ上で随時公開します。

* 開催要項及び参加申込書は、開催日が近づきましたら偶数月発送の広報誌「ひろがり」とともに同封します。

編集後記



令和元年度の総会も無事終了し、いよいよ新年度が本格的に始動します。梅雨に入り気分も減入りがちな毎日ですが、気分を一新、滋賀県介護福祉士会の存在をより身近な団体として認知していただけるよう、会長をはじめとした役員、事務局職員が一丸となり活動してまいります。会員の皆様、法人賛助会員関係者の皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

一般社団法人 滋賀県介護福祉士会
The Shiga Association of Certified Care Workers

〒525-0072
滋賀県笠山七丁目8番138号
滋賀県立長寿社会福祉センター内
TEL:077-569-5133 / FAX:077-569-5173
E-mail: shigakaigo@shiga-jaccw.jp
URL: http://www.shiga-jaccw.jp/



▲スマートフォンは
こちらから

事務局での電話対応時間帯

☎077-569-5133 (平日のみ)
10:00～12:00
13:00～16:00

※大変申し訳ありませんが、平日でも研修の対応などで電話をお受けすることができない場合がございます。お手数ですが、ご用件は、ファックスまたは電子メールでお寄せください。

表紙

「デイサービス エストで過ごす
利用者と介護職員」
撮影:堀 重彦

一般社団法人

滋賀県介護福祉士会 ひろがり

The Shiga Association of Certified Care Workers

会員数821名 5月末現在

2019.6
VOL.081



会長就任の挨拶

□村 淳



このたび、滋賀県介護福祉士会の会長に就任いたしました□村 淳と申します。

これまで本会の礎を築いてこられた村田前会長並びに歴代役員の方々の意志を引き継ぎ、介護福祉士の「ステータス」のより一層の向上を目指し、全力を尽くす所存です。新体制下でも、魅力あふれる様々な研修の開催や、最新の情報の発信に努め、日夜、現場で活躍されている会員の皆さまを応援してまいります。

若輩者ではございますが、ご指導ご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

退任の挨拶

村田 美穂子



皆様こんにちは。

16年間滋賀県介護福祉士会の会長をさせて頂きましたが、6月8日の総会をもちまして、退任させて頂きました。

本当に長い間、ありがとうございました。一重に会員の皆様、理事・監事の皆様、事務局の皆様の支えがあって、何とか続けてくる事ができました。

平成7年から2年理事をさせて頂き、9年から会長に推薦して頂きましたが、父の介護や仕事での関係でお断りさせて頂きました。

平成15年に、NPO法人を立ち上げ独立した事をきっかけに、また会長への要請があり、1～2年ならまだ余裕があるので、引き受けさせて頂きました。

まさか16年（8期）も続ける事になるとは思っていませんでした。

1. 会員さんが200名に満たなかったので増やす事。
 2. 介護福祉士の皆様の質とスキルを上げて頂ける研修をする事。
 3. 介護福祉士が専門性を持ち、語れる人材に育てる事。
 4. 介護福祉士として、地域や外での活躍できる人材を増やす事。
- 等、いくつか取り組んでまいりました。

イナズマロックでブースを確保し、舞台上がりアピールしたり、『介護福祉男子』とポスターをいたる所に貼って、介護の悪い『3K』を払拭する活動をしました。

介護の日には、イオンやアルプラザ、ドラッグストアなどで介護相談やアンケートも取って活動させて頂きました。

今、思い返すと介護福祉士がどんどん増えていき、とても楽しい時代を過ごさせて頂きました。会長として、年間数十か所以上の出前研修を受け、滋賀県中の施設・事業所に入らせて頂きました。多くの介護される方とお会いし、介護の素晴らしさを語って参りました。

今後は顧問として、□村会長を後ろからそっと支援をし、新しい理事さん達の相談相手として、もう少し介護福祉士会に貢献したいと思っております。

簡単ですが、退任の挨拶とさせて頂きます。本当にありがとうございました。

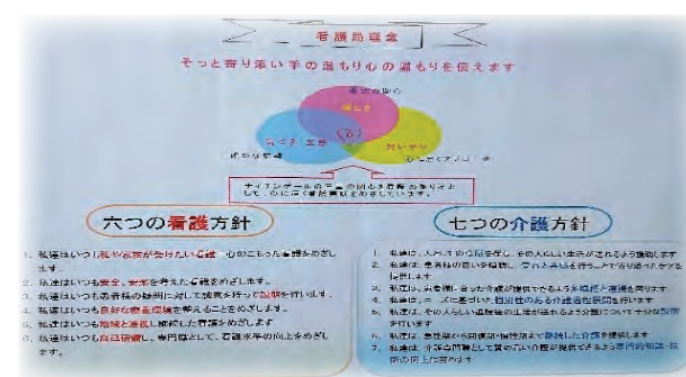


病院で働く介護福祉士の紹介



このたび、初めて理事を務めることになりました市立長浜病院の北村健宏と申します。皆さんは病院で働く介護福祉士に関してどのようなイメージをお持ちでしょうか。市立長浜病院は一般病棟（地域包括ケア病棟含む）療養病棟（医療型）回復期リハビリ病棟、及び訪問看護ステーションを有し、急性期から在宅療養まで継続した統合的な治療を行っている病院です。その中で介護福祉士は、地域包括ケア病棟、医療型療養病棟、回復期リハビリテーション病棟の3カ所に配属されています。介護福祉士は23名

在職（ファーストステップ研修8名修了）しており、経験年数も15年以上が9割を占めています。病棟毎に特色があり、配置人数も異なる中で、どの病棟でも看護助手では無く、介護福祉士としての役割が発揮できるように介護方針（2016年作成）を掲げて取り組んでいます。医療的な組織の中でどのような役割を担い、仕事をしているのかを紹介させて頂きます。



日々の仕事としては、受け持ち患者に対して日常生活の支援を行います。病状も回復期～慢性期～看取りまで幅広く、多職種と連携することが不可欠です。その中でお世話するだけのケアでは無く、根拠ある介護で自立支援を目指しICFの視点で生活の全体像を把握→アセスメント→計画立案→チームカンファレンスでの査定・評価と介護過程を展開し、電子カルテに入力しています。立案した介護項目毎に実施した内容はSOAP方式で記録しています。計画を実施する度に「A」（アセスメント）を記載することで評価の判断材料になるだけではなく、介護職としての思考過程を可視化でき、多職種に向けて情報共有やアピールにもつながっています。具体的には環境整備、排泄介助、精神の活性化、移乗介助、棟内リハビリ、家族介護指導などの計画を立案しています。他にも季節の行事やレクリエーションも看護師と協働して提供しています。入院生活は医療だけではなく生活の視点が重要であり、退院後の生活を想定しながら病棟生活の質を高めることを試行錯誤しながら取り組んでいます。教育面では、様々な年齢層や疾患に対応する為、医療からリハビリまで幅広い知識を求められており、クリニカルラダーに沿った研修だけでなく各病棟単位での学習会に参加しています。

